

平成24年6月13日

各 位

会 社 名 株式会社ハーバー研究所
 代表者名 代表取締役社長 菅原 壽憲
 (コード番号 4925)
 問合せ先 取締役財務・経理部担当ディレクター
 古俣 徳康
 (TEL 03-5296-6250)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成24年5月14日に公表しました「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせします。なお、訂正箇所には下線を付しています。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データにつきましても送信します。

記

【訂正箇所1】

サマリー情報1ページ

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	<u>928</u>	<u>△426</u>	69	3,610
23年3月期	411	△732	△79	3,038

(訂正後)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	<u>682</u>	<u>△179</u>	69	3,610
23年3月期	411	△732	△79	3,038

【訂正箇所2】

(3、4ページ)

1. 経営成績

(2) 財政状態に関する分析

②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、税金等調整前当期純利益911,147千円と有形固定資産や連結子会社株式の取得等により、前連結会計年度に比べ571,812千円増加となりました。

当会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、928,740千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益911,147千円、減価償却費630,896千円、法人税等の支払907,107千円によるものです。前連結会計年度に比べ517,194千円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、426,072千円となりました。これは主に本社兼研究施設の建設等による支出533,377千円、連結子会社株式の取得による支出449,642千円と、株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの子会社化による現預金等の増加211,970千円、販売会社吸収合併に伴う閉鎖事務所の差入保証金回収等106,649千円によるものです。前連結会計年度に比べ306,361千円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、69,143千円となりました。これは主に、借入金の純増加額149,932千円と配当金の支払額78,755千円によるものです。前連結会計年度に比べ、149,064千円の増加となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率 (%)	46.0	45.0	43.1	41.6	38.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	78.6	79.2	76.8	75.9	69.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	1,448.7	446.5	842.0	1,439.9	<u>703.4</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	3.6	14.3	7.8	5.4	<u>10.8</u>

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(訂正後)

当会計連度末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、税金等調整前当期純利益911,147千円と有形固定資産や連結子会社株式の取得等により、前連結会計年度に比べ571,812千円増加となりました。

当会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、682,490千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益911,147千円、減価償却費630,896千円、法人税等の支払907,107千円によるものです。前連結会計年度に比べ270,943千円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、179,822千円となりました。これは主に本社兼研究施設の建設等による支出533,377千円、連結子会社株式の取得による支出203,392千円と、株式会社エイチプラスビー・ライフサイエンスの子会社化による現預金等の増加211,970千円、販売会社吸収合併に伴う閉鎖事務所の差入保証金回収等106,649千円によるものです。前連結会計年度に比べ552,611千円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、69,143千円となりました。これは主に、借入金の純増加額149,932千円と配当金の支払額78,755千円によるものです。前連結会計年度に比べ、149,064千円の増加となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率(%)	46.0	45.0	43.1	41.6	38.9
時価ベースの自己資本比率(%)	78.6	79.2	76.8	75.9	69.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	1,448.7	446.5	842.0	1,439.9	<u>957.2</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	3.6	14.3	7.8	5.4	<u>8.0</u>

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

【訂正箇所3】

(16ページ)

4. 連結財務諸表 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

〔訂正前〕

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	449,461	911,147
減価償却費	427,448	630,896
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,863	-
引当金の増減額 (△は減少)	24,308	△164,207
減損損失	54,667	11,857
受取利息及び受取配当金	△1,883	△2,125
支払利息	76,491	85,704
固定資産売却損益 (△は益)	△325	12,095
固定資産除却損	17,637	50,884
保険解約損益 (△は益)	△16,109	△20,497
移転補償金	△14,500	-
受取補償金	△10,000	-
役員退職慰労金	6,250	-
固定資産臨時償却費	29,202	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,399	△18,062
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△207,141	10,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,316	115,006
未払債務の増減額 (△は減少)	5,581	292,817
未払又は未収消費税等の増減額	△57,016	△54,928
その他	30,237	65,426
小計	902,090	1,926,539
利息及び配当金の受取額	1,734	2,101
移転補償金の受取額	14,500	-
役員退職慰労金の支払額	△72,750	△46,245
利息の支払額	△72,355	△76,478
法人税等の支払額	△372,713	△907,107
法人税等の還付額	11,040	29,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,546	928,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	76,647	139,187
有価証券の売却による収入	-	9,652
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	211,970
子会社株式の取得による支出	△328,865	△449,642
関係会社株式の売却による収入	-	10,686
有形固定資産の取得による支出	△486,924	△533,377
無形固定資産の取得による支出	△29,524	△30,397
固定資産の売却による収入	400	39,474
長期前払費用の取得による支出	△18,799	△8,210
差入保証金の差入による支出	△22,907	△9,765
差入保証金の回収による収入	15,210	106,649
貸付金の回収による収入	-	42,071
保険積立金の解約による収入	57,072	31,830
その他	5,257	13,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732,433	△426,072

(省略)

〔訂正後〕

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	449,461	911,147
減価償却費	427,448	630,896
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,863	—
引当金の増減額 (△は減少)	24,308	<u>△136,487</u>
減損損失	54,667	11,857
受取利息及び受取配当金	△1,883	△2,125
支払利息	76,491	85,704
固定資産売却損益 (△は益)	△325	12,095
固定資産除却損	17,637	50,884
保険解約損益 (△は益)	△16,109	△20,497
移転補償金	△14,500	—
受取補償金	△10,000	—
役員退職慰労金	6,250	—
固定資産臨時償却費	29,202	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,399	△18,062
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△207,141	10,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,316	115,006
未払債務の増減額 (△は減少)	5,581	<u>46,567</u>
未払又は未収消費税等の増減額	△57,016	△54,928
その他	30,237	65,426
小計	902,090	<u>1,708,008</u>
利息及び配当金の受取額	1,734	2,101
移転補償金の受取額	14,500	—
役員退職慰労金の支払額	△72,750	<u>△73,964</u>
利息の支払額	△72,355	△76,478
法人税等の支払額	△372,713	△907,107
法人税等の還付額	11,040	29,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	411,546	<u>682,490</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	76,647	139,187
有価証券の売却による収入	—	<u>9,656</u>
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	211,970
子会社株式の取得による支出	△328,865	<u>△203,392</u>
有形固定資産の取得による支出	△486,924	△533,377
無形固定資産の取得による支出	△29,524	△30,397
固定資産の売却による収入	400	39,474
長期前払費用の取得による支出	△18,799	△8,210
差入保証金の差入による支出	△22,907	△9,765
差入保証金の回収による収入	15,210	106,649
貸付金の回収による収入	—	42,071
保険積立金の解約による収入	57,072	31,830
その他	5,257	<u>24,480</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△732,433	<u>△179,822</u>
(省略)		

以 上